

平成23年度

嬉野市水道事業会計決算

審査意見書

嬉野市監査委員

平成 23 年度嬉野市水道事業会計決算審査意見書

第 1 審査の概要

1 審査の対象

平成 23 年度嬉野市水道事業会計の決算報告書、損益計算書、剰余金計算書、剰余金処分計算書（案）、貸借対照表、事業報告書、収益費用明細書、固定資産明細書及び企業債明細書

2 審査の期間

平成 24 年 6 月 26 日、27 日

3 審査の手続

審査対象について、法令、計数、予算を着眼点に、当該事業が健全財政の確保を考慮し、適正かつ効率的に執行されているかなど、次の事項に留意して審査を行った。

- (1) 決算関係書類の作成状況について
- (2) 水道事業の経営状況について
- (3) 水道業務の推進状況について
- (4) 水道料金の収納状況と未収金等の処理状況について
- (5) 建設改良工事等の実施状況について
- (6) 水道施設の管理状況について

第 2 審査の結果

1 決算関係書類の作成状況について

審査に付された決算関係書類は、地方公営企業法及び関係法令に準拠して作成され、その計数は正確であり、平成 23 年度の経営成績及び年度末現在における財政状態を適正に表示されているものと認めた。

2 水道事業の経営状況について

平成 23 年度の経営結果は、営業収支が 26,207,318 円の損失、営業外収支が 95,636,467 円の利益であり、当年度純利益が 69,429,149 円であった。

経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示す経常収支比率は、111.16%で、昨年度より 0.76 ポイント増加しており、健全な経営に取り組まれているものと評価した。

総収益に係る繰入金（収益的収入分）の割合を示す繰入金比率（収益的収入分）は、17.51%と昨年度より 1.0 ポイント改善したものの、繰入金依存度は類似団体 5.9%と比較しても依然高いと判断されるため、今後も引き続き適正な経営に努められたい。

企業債については、順調に償還されているものと認めた。

なお、3 月末現在における残高は、1,448,190,269 円であった。

(1) 収益的収入及び支出について（税抜き）

営業収益は 559,476,319 円、営業外収益は 131,939,782 円で、収益的収入の総額は 691,416,101 円であった。

これに対し、営業費用は 585,683,637 円、営業外費用は 36,303,315 円で、収益的支出の総額は 621,986,952 円であった。

依然として営業損失が生じているが、収益的支出については、減価償却費等の減少により大幅に減額している。

なお、営業費用が営業収益によってどの程度賄われているかを示す営業収支比率については 95.53%と、昨年度より 0.81 ポイント改善している。

また、職員 1 人当たりの営業収益は、昨年度に比べ 1,217 千円減少しているものの、業務の効率化や委託化等により鋭意努力されているものと評価した。

収益的収入及び支出の状況

第1表-① 収益的収入（税抜き）

（単位：円）

項目	平成23年度	平成22年度	比較増減額	増減率 (%)	構成率 (%)
1 営業収益	559,476,319	567,992,935	△ 8,516,616	△ 1.5	80.6
(1) 上水道給水収益	551,422,638	559,801,314	△ 8,378,676	△ 1.5	(79.4)
(2) 上水道受託工事収益	0	0	0	0.0	(0.0)
(3) 簡易水道収益	3,456,152	3,565,210	△ 109,058	△ 3.1	(0.5)
(4) その他営業収益	4,597,529	4,626,411	△ 28,882	△ 0.6	(0.7)
2 営業外収益	131,939,782	136,489,503	△ 4,549,721	△ 3.3	19.1
(1) 受取利息及び配当金	2,440,893	2,592,527	△ 151,634	△ 5.8	(0.4)
(2) 上水道他会計補助金	99,674,790	108,142,893	△ 8,468,103	△ 7.8	(14.4)
(3) 簡易水道他会計補助金	19,471,350	20,443,898	△ 972,548	△ 4.8	(2.9)
(4) 上水道加入金	9,730,000	3,420,000	6,310,000	184.5	(1.4)
(5) 簡易水道加入金	0	0	0	0.0	(0.0)
(6) 上水道雑収益	619,529	1,890,185	△ 1,270,656	△ 67.2	(0.1)
(7) 簡易水道雑収益	3,220	0	3,220	0.0	(0.0)
事業収益計	691,416,101	704,482,438	△ 13,066,337	△ 1.9	100.0

第1表-② 収益的支出（税抜き）

（単位：円）

項目	平成23年度	平成22年度	前年度比	増減率 (%)	構成率 (%)
1 営業費用	585,683,637	599,661,877	△ 13,978,240	△ 2.3	94.2
(1) 原水及び浄水費	182,726,177	183,037,701	△ 311,524	△ 0.2	(29.4)
(2) 配水及び給水費	94,640,527	103,057,696	△ 8,417,169	△ 8.2	(15.2)
(3) 受託工事費	0	0	0	0.0	(0.0)
(4) 総係費	66,401,506	66,849,641	△ 448,135	△ 0.7	(10.7)
(5) 簡易水道費	3,658,614	4,219,569	△ 560,955	△ 13.3	(0.6)
(6) 減価償却費	228,581,753	237,503,781	△ 8,922,028	△ 3.8	(36.8)
(7) 資産減耗費	8,747,090	3,660,608	5,086,482	139.0	(1.4)
(8) その他営業費用	927,970	1,332,881	△ 404,911	0.0	(0.1)
2 営業外費用	36,303,315	38,436,617	△ 2,133,302	△ 5.6	5.8
(1) 上水道支払利息	27,315,739	28,745,508	△ 1,429,769	△ 5.0	(4.4)
(2) 簡易水道支払利息	7,967,997	8,461,090	△ 493,093	△ 5.8	(1.3)
(3) 上水道その他営業外費用	1,019,579	1,230,019	△ 210,440	△ 17.1	(0.1)
(2) 簡易水道その他営業外費用	0	0	0	0.0	(0.0)
事業費用計	621,986,952	638,098,494	△ 16,111,542	△ 2.5	100.0

(2) 資本的収入及び支出について (税込み)

資本的収入は、工事負担金 1,924,600 円、他会計補助金 115,251,750 円、他会計負担金 2,305,800 円で、資本的収入合計は 119,482,150 円であった。

これに対し資本的支出は、建設改良費 254,232,300 円、営業設備費 395,820 円、企業債償還金 89,377,564 円で、資本的支出合計は 344,005,684 円であった。

したがって、資本的収入不足額が 224,523,534 円となり、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 7,438,186 円、過年度分損益勘定留保資金 217,085,348 円で補填している。

また、総資本に占める自己資本構成比率は 78.5%で、昨年度より 1.63 ポイント増加しており財務状態の長期的な安全性が改善されていると評価した。

資本的収入及び支出の状況

第2表-① 資本的収入 (税込み)

(単位：円)

項目	平成23年度	平成22年度	比較増減額	増減率 (%)	構成率 (%)
1 工事負担金	1,924,600	696,074	1,228,526	176.5	1.6
(1) 上水道工事負担金	0	0	0	0.0	(0.0)
(2) 上水道工事補償金	1,924,600	696,074	1,228,526	0.0	(1.6)
2 他会計補助金	115,251,750	105,905,647	9,346,103	8.8	96.5
(1) 上水道他会計補助金	115,251,750	105,905,647	9,346,103	8.8	(96.5)
3 他会計負担金	2,305,800	1,470,000	835,800	56.9	1.9
(1) 上水道他会計負担金	2,305,800	1,470,000	835,800	56.9	(1.9)
事業収益計	119,482,150	108,071,721	11,410,429	10.6	100.0

第2表-② 資本的支出 (税込み)

(単位：円)

項目	平成23年度	平成22年度	比較増減額	増減率 (%)	構成率 (%)
1 建設改良費	254,232,300	195,166,650	59,065,650	30.3	73.9
(1) 上水道施設改良費	54,054,000	38,058,300	15,995,700	42.0	(15.7)
(2) 上水道施設新設・拡張費	12,433,050	14,377,650	△ 1,944,600	△ 13.5	(3.6)
(3) 簡易水道施設改良費	0	0	0	0.0	(0.0)
(4) 統合事業費	187,745,250	142,730,700	45,014,550	31.5	(54.6)
2 営業設備費	395,820	111,050	284,770	256.4	0.1
(1) 上水道営業設備費	395,820	111,050	284,770	256.4	(0.1)
(2) 簡易水道営業設備費	0	0	0	0.0	(0.0)
3 企業債償還金	89,377,564	86,330,968	3,046,596	3.5	26.0
(1) 上水道企業債償還金	76,433,401	73,879,898	2,553,503	3.5	(22.2)
(2) 簡易水道企業債償還金	12,944,163	12,451,070	493,093	4.0	(3.8)
事業費用計	344,005,684	281,608,668	62,397,016	22.2	100.0

(3) 財政状態

資産の面をみると、固定資産が5,808,400,349円で、前年度より0.1%微増している。これは、減価償却による減少はあるものの、水道施設統合事業に係る下野浄水場等の整備による固定資産の増加によるものである。

また、流動資産は、1,002,676,247円で前年度より9.9%増加しており、資産全体として前年度より1.4%増加している。

資本総額は、借入資本金の減少により89,377,564円の減となっているが、自己資本金は前年度と同額、剰余金については、184,243,185円増加しており、合計では、94,865,621円の増加となっている。剰余金の増額の内訳は、資本剰余金が114,814,036円、利益剰余金が69,429,149円である。

なお、利益剰余金処分については、減債積立金に3,500,000円、利益積立金に65,929,149円が組み入れられている。

貸借対照表

第3表－① 資産の部（税抜き）

科 目	平成23年度	平成22年度	前年度比	増減率(%)
1 固定資産	5,808,400,349	5,803,184,020	5,216,329	0.1
(1)上水道有形固定資産	5,409,760,355	5,387,430,909	22,329,446	0.4
(2)簡易水道有形固定資産	340,529,344	351,674,343	△ 11,144,999	△ 3.2
(3)上水道無形固定資産	57,155,270	62,967,058	△ 5,811,788	△ 9.2
(4)簡易水道無形固定資産	955,380	1,111,710	△ 156,330	△ 14.1
2 流動資産	1,002,676,247	912,079,841	90,596,406	9.9
(1)現金預金	875,195,728	783,476,275	91,719,453	11.7
(2)未収金	24,634,478	25,210,740	△ 576,262	△ 2.3
(3)有価証券	99,950,000	99,950,000	0	0.0
(4)貯蔵品	2,896,041	3,442,826	△ 546,785	△ 15.9
資産合計	6,811,076,596	6,715,263,861	95,812,735	1.4

第3表-② 負債の部（税抜き）

科 目	平成23年度	平成22年度	前年度比	増減率(%)
1 流動負債	16,515,619	15,627,905	887,714	5.7
(1)未払金	16,335,689	15,456,385	879,304	5.7
(2)その他流動負債	179,930	171,520	8,410	4.9
負債合計	16,515,619	15,627,905	887,714	5.7

第3表-③ 資本の部（税抜き）

科 目	平成23年度	平成22年度	前年度比	増減率(%)
1 資本金	5,886,023,726	5,975,401,290	△ 89,377,564	△ 1.5
(1)自己資本金	4,437,833,457	4,437,833,457	0	0.0
(2)借入資本金	1,448,190,269	1,537,567,833	△ 89,377,564	△ 5.8
2 剰余金	908,537,251	724,294,066	184,243,185	25.4
(1)資本剰余金	638,783,777	523,969,741	114,814,036	21.9
(2)利益剰余金	269,753,474	200,324,325	69,429,149	34.7
資本合計	6,794,560,977	6,699,695,356	94,865,621	1.4

3 水道業務の推進状況について

損益勘定では、清水浄水場機械設備改修工事、岩ノ下浄水場浄水残留塩素計取替修繕工事、中通地区減圧弁修繕工事、道路改良等に伴う給水管切替工事及び鉛管更新事業が実施され、漏水調査業務、施設運転管理業務及び窓口業務の委託が実施された。

資本勘定では、消火栓取替、農業集落排水事業に伴う配水管布設工事、嬉野地区の公共下水道工事に伴う配水管布設工事、電気計装設備工事、送水管布設工事及び塩田・嬉野地区の水道施設統合整備設計業務委託等が実施された。

また、塩田、嬉野両地区の統合事業の完了に伴い非常時の総合的な供給体制が整備されたが、更なる安全で安定した給水を堅持するため、今後も漏水調査を継続的に行うとともに、事業の効率化に努められたい。

(1) 給水状況について

平成 23 年度における給水の状況は、平成 23 年 3 月末現在で、給水戸数 9,044 戸、給水人口 26,341 人、年間配水量は 3,184,575 m³、年間有収水量 2,604,439 m³で、前年度と比較して給水人口並びに配水量及び有収水量ともに減少している。1 日平均配水量は 8,701 m³で、昨年度より 97 m³の減少、1 日平均有収水量は 7,116 m³で、昨年度より 107 m³減少しているが、概ね安定した供給量となっている。給水戸数は、前年度と比較して 49 戸の増加にあったのに、年度末給水人口は 291 人減少しており、核家族化等によるものと推察される。平成 23 年度においては、病院や保育所などの大規模事業所の新規加入があっており、今後の配水量及び有収水量の増加が見込まれる。

(2) 有収率について

有収率は 81.8%で、前年度より 0.3 ポイント下がっており、県内他市の平均と比較しても依然として低水準である。

平成 23 年度においては、600 件に及ぶ漏水事故が発生しており、有収率に多大な影響を及ぼしている。

今後は、近年の猛暑及び大寒波等の気候・気象が及ぼす管体への影響も考慮し、継続的な老朽管の更新、漏水発生予測による定期的な調査や日常の配水量の監視を強化するなど、水道事業の健全経営のため、更なる改善に努められたい。

第4表 給水業務量

事 項	平成23年度(3月末現在)			備 考 (うち簡易水道事業)	
	塩田地区	嬉野地区	合 計		
年度末給水人口	9,298人	17,043人	26,341人	383人	
年度末給水戸数	2,733戸	6,311戸	9,044戸	113戸	
配水量	年間	923,981 m ³	2,260,594 m ³	3,184,575 m ³	18,228 m ³
	一日平均	2,525 m ³	6,176 m ³	8,701 m ³	50 m ³
有収水量	年間	710,970 m ³	1,893,469 m ³	2,604,439 m ³	17,425 m ³
	一日平均	1,943 m ³	5,173 m ³	7,116 m ³	48 m ³
一日最大配水量	3,374 m ³	7,889 m ³	11,263 m ³	138 m ³	
有 収 率	76.9 %	83.8 %	81.8 %	95.6 %	

事 項	平成22年度(3月末現在)			備 考 (うち簡易水道事業)	
	塩田地区	嬉野地区	合 計		
年度末給水人口	9,472人	17,160人	26,632人	395人	
年度末給水戸数	2,728戸	6,267戸	8,995戸	116戸	
配水量	年間	935,849 m ³	2,275,370 m ³	3,211,219 m ³	18,995 m ³
	一日平均	2,564 m ³	6,234 m ³	8,798 m ³	52 m ³
有収水量	年間	716,941 m ³	1,919,328 m ³	2,636,269 m ³	18,189 m ³
	一日平均	1,964 m ³	5,258 m ³	7,223 m ³	50 m ³
一日最大配水量	3,613 m ³	8,036 m ³	11,649 m ³	85 m ³	
有 収 率	76.6 %	84.4 %	82.1 %	95.8 %	

事 項	比 較			備 考 (うち簡易水道事業)	
	塩田地区	嬉野地区	合 計		
年度末給水人口	△174人	△117人	△291人	△12人	
年度末給水戸数	5戸	44戸	49戸	△3戸	
配水量	年間	△11,868 m ³	△14,776 m ³	△26,644 m ³	△767 m ³
	一日平均	△39 m ³	△58 m ³	△97 m ³	△2 m ³
有収水量	年間	△5,971 m ³	△25,859 m ³	△31,830 m ³	△764 m ³
	一日平均	△21 m ³	△85 m ³	△107 m ³	△2 m ³
一日最大配水量	△239 m ³	△147 m ³	△386 m ³	53 m ³	
有 収 率	0.3 %	△0.6 %	△0.3 %	△0.2 %	

4 水道料金の収納状況と未収金等の処理状況について

平成 23 年度末における水道使用料の収入済額は、過年度・現年度合わせて、582,613,285 円であった。

水道料金の未収金の回収については、臨戸による徴収等鋭意努力されており、収入未済額 22,232,543 円で、平成 22 年度末の 23,070,768 円と比較して、838,225 円、率にして 3.6%の減少となっている。

また、給水原価に係る供給単価で示す料金回収率は 89.21%で、昨年度より 0.92 ポイント改善している。しかし、依然として給水に係る費用が、水道料金による収入以外に他の収入に頼り賄われており、適正な料金収入の確保が求められる。

また、今年度の不納欠損額は、847,670 円であり、その処理については、法令に基づき適正に行われているものと認めた。不納欠損処理の主な理由としては、債権者の居所不明・死亡及び事業所の倒産により徴収ができなくなったためであった。

今後、厳しい経済状況の中、大口利用者の業績悪化や倒産等による滞納の増加も予想され、収納嘱託員を含め更なる収納対策の取組みが重要となるため、徴収については、なお一層の努力と工夫に努められたい。

第5表-① 未収金の状況（塩田地区）

当初調定年度	調定額 (円)	収入済額 (円)	不納欠損額 (円)	人数 (人)	月数 (月)	収入未済額 (円)
平成9年度	93,950	16,740	0	1	3	77,210
平成10年度	558,490	60,000	0	3	16	498,490
平成11年度	233,050	34,050	0	3	7	199,000
平成12年度	184,340	25,950	0	2	12	158,390
平成13年度	43,670	0	0	2	3	43,670
平成14年度	229,380	38,450	0	3	22	190,930
平成15年度	288,330	41,250	0	5	36	247,080
平成16年度	191,010	29,260	0	5	37	161,750
平成17年度	247,560	73,530	0	4	43	174,030
平成18年度	321,400	13,950	140,800	6	42	166,650
平成19年度	482,260	0	0	21	114	482,260
平成20年度	498,620	31,530	0	25	128	467,090
平成21年度	618,440	243,980	0	20	90	374,460
平成22年度	4,177,890	3,553,840		26	127	624,050
過年度計	8,168,390	4,162,530	140,800	126	680	3,865,060
現年度	224,213,680	220,005,290	0	353	711	4,208,390
合計	232,382,070	224,167,820	140,800	479	1,391	8,073,450

第5表-② 未収金の状況（嬉野地区（上水・簡水合算））

当初調定年度	調定額 (円)	収入済額 (円)	不納欠損額 (円)	人数 (人)	月数 (月)	収入未済額 (円)
平成14年度	60,000	23,000	0	1	7	37,000
平成15年度	66,500	9,860	0	1	9	56,640
平成16年度	52,510	52,510	0	0	0	0
平成17年度	87,230	55,370	0	2	11	31,860
平成18年度	934,390	71,410	706,870	4	46	156,110
平成19年度	1,237,143	50,530	0	72	323	1,186,613
平成20年度	4,152,340	97,900	0	86	363	4,054,440
平成21年度	878,710	279,370	0	53	225	599,340
平成22年度	7,433,555	6,554,425	0	55	263	879,130
過年度計	14,902,378	7,194,375	706,870	274	1,247	7,001,133
現年度	358,409,050	351,251,090	0	993	1,867	7,157,960
合計	373,311,428	358,445,465	706,870	1,267	3,114	14,159,093

第5表－③ 未収金の状況（嬉野市合計）

当初調定年度	調定額 (円)	収入済額 (円)	不納欠損額 (円)	人数 (人)	月数 (月)	収入未済額 (円)
平成9年度	93,950	16,740	0	1	3	77,210
平成10年度	558,490	60,000	0	3	16	498,490
平成11年度	233,050	34,050	0	3	7	199,000
平成12年度	184,340	25,950	0	2	12	158,390
平成13年度	43,670	0	0	2	3	43,670
平成14年度	289,380	61,450	0	4	29	227,930
平成15年度	354,830	51,110	0	6	45	303,720
平成16年度	243,520	81,770	0	5	37	161,750
平成17年度	334,790	128,900	0	6	54	205,890
平成18年度	1,255,790	85,360	847,670	10	88	322,760
平成19年度	1,719,403	50,530	0	93	437	1,668,873
平成20年度	4,650,960	129,430	0	111	491	4,521,530
平成21年度	1,497,150	523,350	0	73	315	973,800
平成22年度	11,611,445	10,108,265	0	81	390	1,503,180
過年度計	23,070,768	11,356,905	847,670	400	1,927	10,866,193
現年度	582,622,730	571,256,380	0	1,346	2,578	11,366,350
合計	605,693,498	582,613,285	847,670	1,746	4,505	22,232,543

5 建設改良等工事の実施状況について

平成23年度の建設改良等工事は39件で、農業集落排水事業及び公共下水道事業の進捗による配水管布設替や水道事業統合整備送水管布設などの工事を実施しており、引き続き公共下水道事業等その他事業と連携を取り、効率的、計画的に「安全で安心」な水の供給のため細心の注意を払って、設計、契約等の事務に当たり、経費の節減に努められたい。

6 水道施設の管理状況について

水道施設の管理については、老朽化した施設及び設備が多く、鉛管の更新を始めとした配・給水管の更新事業のため、年間総有収水量に係る修繕料及び委託料の割合は依然として高い。今後も長期的視野を持って、将来にわたり水道水の安定的な供給が行われるよう効率的、計画的な取組みに努められたい。

まとめ（審査の総合意見）

平成 23 年度における水道事業は、嬉野市水道事業統合整備事業を完了させるなど順調に経営され、堅実に事業が進捗しているものと認めたところであるが、水道事業を取り巻く社会経済状況は、未収金や不納欠損の状況にも表れているように依然として厳しい状態が続いている。

一般家庭においては、近年の猛暑による熱中症対策等により水の需要が高まっているが、一方では、節水意識の高揚と節水機器の普及が進み、さらにペットボトル水やミネラルウォーターを飲料水とする需要の先細りは今後も続くものと予想され、給水収益の増加はあまり期待できないと考えられる。また、人口減少による給水量の減少や佐賀西部広域水道企業団からの受水の料金変動、さらには水道料金の市内統一による影響など厳しい水道事業の経営が予想される。

このような中、平成 24 年 4 月の水道料金の統一による影響や施設の老朽化による大規模な漏水事故や災害による突発的な多額の欠損金の発生などにより、今後損失が生じる場合は、繰越利益剰余金から補填し、それでも不足がある場合に、利益剰余金を補填するため、法令の規定に基づき、減債積立金、利益積立金への積み立てが行われている。翌年度繰越利益剰余金については、平成 18 年度から同額の 29,115,651 円となっており、今後の経営状況を予測すると、増額も検討されたい。

次に、毎年度漏水・鉛管調査を実施されているが、平成 23 年度においては、本管だけでなく、600 件に及ぶ凍結による宅内給水管の漏水事故が発生しており、老朽化した施設を多く抱える当市においては、これからも突発漏水が発生する可能性があることから、引き続き導入された流量計を備えた中央監視装置の活用や個別の音聴調査など、可能な限り有収率の低下を避けるための積極的な漏水調査に取り組まされたい。

終わりに、水道事業は公共の福祉を醸成する上で極めて重要な使命を担っている。

また、嬉野、塩田両地区の水道事業の統合が実現し、水道料金の統一については、市民の関心も否応なく高まっている。

したがって、市民の要求に応え、堅実かつ効率的な事業の進展という重要な課題を抱えて経営に携わる職員各位の責任は、極めて重大である。

水道課職員におかれては、日常業務に加え、漏水時等の緊急対応、また大口利用者の業績悪化や倒産を受け、使用料の収納についても厳しい状況が続くことが考えられるが、市民に安全で安心な水道水を供給するため、なお一層の事業の推進及び健全経営に努められたい。